

## 中学校社会科における学習指導について④

—生徒の主体的な学びを促し，学力を向上させる手立てについての実践—

溜池 善裕・大嶋 正克

宇都宮大学共同教育学部教育実践紀要 第9号 別刷

2022年8月31日



## 中学校社会科における学習指導について④<sup>†</sup>

—生徒の主体的な学びを促し、学力を向上させる手立てについての実践—

溜池 善裕\*・大嶋 正克\*\*

宇都宮大学共同教育学部\*

小山市立小山第三中学校\*\*

新型コロナウイルスの収束が未だ見通せない中、それでも学校現場では、新学習指導要領の求める「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けて暗中模索が繰り返されている。とりわけ筆者の勤務校或いはその周辺においても、GIGAスクール構想のもと、ICT機器の積極的な活用こそが生徒たちに対する学びへの意欲喚起につながるだけでなく、「個別最適化され、創造性を育む学び」を実現させるとの声がそこかしこで聞こえてくる。だが、このような実践はあくまでも手段としての方策であり、生徒たちの学習意欲を涵養しながら能力としても向上させていく学習活動となっているのかは甚だ疑問である。主体的・対話的で深い学びを築き上げていく中、真の意味で生徒個々の学力（一人学習の手法とその意欲）を向上させていく実践を述べていきたい。

キーワード：中学校社会科、学習指導、主体的・対話的で深い学び、一人学習、共同学習、学力向上

### 1. はじめに

未だ新型コロナウイルスの収束が見通せない状況下では、いつまた休校や学級閉鎖が起きるのかという不安が付きまとうこともあって、とにかく教科書の内容を年度内に終わらせることが優先されてくる。結果、進度ばかりが意識され、「知識」を詰め込むような従来型の授業が大義名分を得てしまうのは必然なのかもしれない。それでも新学習指導要領の完全実施に伴い、学校課題には「言語活動の充実」や「指導と評価の一体化」が謳われているため、「ねらい」の提示と「振り返り」の時間確保、主体的な学習と

称された週毎の課題提出が繰り返されてきた。

だが、「ねらい」の設定と「振り返り」の記述が、学力の向上にどのような効果があるのか、あるいは課題の提出によって学習への主体性を認定することが妥当なのかどうかについては、議論されることもないまま導入ありきのスタートであったため、形式的な実施であったことは否めない。

学校課題としてやらざるを得ない義務を果たしつつ、これらの方策によって生徒たちに個別最適化した学びを保証し、学力の向上を図るにはどのような手段が妥当であるのか。具体的な事例も交えながら検証していきたい。

† Yoshihiro TAMEIKE\* and Masakatsu OOSHIMA\*\*: Learning Guidance in Junior High School Social Studies (4)Practice that I get over various limitation in the corona whirlpool

Keywords: Junior high school social studies course, Learning instruction, The learning that is like independent talks, and is deep, one-person learning, Combination learning, Academic development

\* Cooperative Faculty of Education, Utsunomiya University

\*\* Oyamadaisan Junior Highschool, Oyama

### 2. 学習指導の改善と展開

#### (1) 自主学習のすゝめ

これまで学年独自に、自主学習と称した事実上の強制学習が行われてきた。学級担任は毎日ノートやワークを提出させ、決められたページ数をやらなければ昼休みや放課後に居残りさせるものだが、その内容は義務的なやつつけ仕事的なものであり、生徒たちからもやらされ感の声ばかりが聞こえてくる。その延長上に、週末課題という5教科の宿題が毎週

課せられている。学年独自の自主学習によって生徒たちは課題を必ずやるべきものと訓練され、学期毎の評価にも組み込まれているため提出率はすこぶる良いのだが、そもそも半強制的に課されている提出物によって「主体的に学習に取り組む態度」を評価すべきなのか、疑問をもつ声も少なくない。

そこで、教科として独自の自主学習を設けることとした。しかし、学年独自の自主学習と毎週の週末課題や、塾や習い事に通う生徒の存在を考えると、その負担はかなりのものと想像できた。生徒の主体性を確保しつつ、無理のない学習を展開するための方策として思いついたのが、提出時期を一律にしない、そのために内容、分量とも固定化しない自主学習のスタイルである。まずは年度始めの授業開きで、生徒たちに教科としての方針を伝える時間を確保した。自主学習として調べ学習を奨励し、テーマや内容は各自で自由に決めてよいこと、そのやり方やノートへのまとめ方について簡単にまとめたプリントを配布、提出は随時との説明を行った。

## (2) 「ねらい」と「振り返り」の見直し

教科部会において、授業毎に「ねらい」を設定すること、「振り返り」を書かせることへの学習効果を尋ねてみたところ、毎回では授業の度に5～10分程の時間確保が必要なため、進度に影響が出るという意見が寄せられた。また、「振り返り」に書かれる文章も感想の域を出ないものが多く、とりあえず書いておけばいいような内容ばかりなので、疑問を感じているとの声ばかりであった。

そこで、社会科部会として独自に「ねらい」と「振り返り」の設定を小単元単位で行うよう変更し、各教師の裁量に任されていた「ねらい」を、教科部会として同じ内容に統一した。その内容についても単元全体を通して学んだ内容を活用しないと答えられないような課題解決型とすることで、生徒の自己学習力を見取れるようにした。

## 3. 学習指導の効果

### (1) 自主学習

提出を義務付けないことから、授業開始から暫くの間は提出がみられなかった。凡そ2週間後の4月19日、最初の提出があった。その生徒は、1学年時に筆者が授業を受け持っていたこともあり、調べ学習には慣れていたのである。公開することの承諾を得た上ですかさずその作品を印刷して配布し、具

体的な事例として紹介した。すると、堰を切ったかのように各クラスから続々と調べた内容が提出されるようになった。その一つ一つに目を通し、具体的なアドバイスを赤ペンで記入し、コピーをとった後、返却するというルーティンを繰り返した。その中で強調してきたのは、自分の実生活と調べてくる内容とつながりを持たせるようにすることと、一つの事象を調べたらそれで終わりというのではなく、調べたことで生じた新たな問いや関連してくる物事について、さらに粘り強く調べ続けていくことである。

クラスの差こそあれ、残念ながら全く調べ学習をしてこなかった生徒が約5分の1いたものの、年間を通して継続的に調べ学習を行った生徒も相当数おり、その内容・成果についても紆余曲折したからこそその多面的・多角的な思考が見られた。<sup>(1)</sup>

やらされる学習に慣れてしまい、自ら調べ学習をやる気配のない生徒もいることから1学期の終わりには、調べ学習を夏休みの課題とした。すると、課題とした調べ学習の提出率は9割以上に達したのだから、過去数年間に染み込んでしまった「やらされる学習」の弊害は想像以上に大きい。

### (2) 「ねらい」と「振り返り」

3学年最初の「ねらい」設定は、歴史的分野「世界恐慌が世界に与えた影響について考える」である。

しかし、この問いに対する「振り返り」で書かれたものの中には、先の教科部会で述べられた懸念を思い起させるものが見られた。以下に掲載するのは、年度当初に見られたもののうち、授業で扱った内容を自分自身の思考体系の中に位置づけることができず、ただ何となく思いついたことを書くことで提出義務を果たしたとするようなものである。

世界恐慌が起きて、ニューディール政策とブロック経済で解決した。その後ヒトラーがユダヤ人を殺し、ムッソリーニが出てきて五・一五事件と二・二六事件が起きて日中戦争がはじまった。

これは、小単元の学習内容をかなり大雑把に時系列で述べた文章にすぎない。教科書に登場する社会的事象がそれぞれどのように関わり合っているのかというような記述も見られないので、本当に学習内容を理解しているのかが疑わしい例である。とりあえず重要語句とされる単語を並べた文章を書けば評価されるという過去の経験がそうさせたのかもしれない。

世界恐慌が起きたが、ルーズベルト大統領がニューディール政策で解決できたことがわかった。だけどヒトラーやムッソリーニがファシズムを行い侵略をはじめ、日本も中国と戦争をしたことがわかりました。

この文も上記のものと同じだが、語尾に必ず「わかった」とか「わかりました」との表現が見られる。また、ものごとを人物や結果と結びつけているものの、どのようにという肝心な部分は固有名詞を出すことでごまかしている。また、「今後の生活に生かしていきたい」という文章も散見される。歴史の学習内容をどのように今後の生活に生かしていくのか甚だ疑問ではあるが、「～についてわかった」に代表されるように、学習に対して前向きな姿勢を書けば良しとされるという認識が生徒達の中に根付いているのかもしれない。

世界恐慌がどんなにひどいものかがよくわかりました。ぜひ今度調べてみたい。

「わかった」という文章で理解したことを、「調べてみたい」という文章で学習に対する前向きさをアピールしているが、文章全体が抽象的で具体性に乏しいため、どの程度理解しているのかは疑わしい。しかも、自主学習という調べ学習を導入したにも関わらずこの生徒は1度として調べ学習を行うことはなかった。つまり、その場しのぎの文章であったと判断できるものである。

以上の3点とも、ねらいで「世界恐慌」が提示されているため文章頭に世界恐慌の文字こそ書かれているが、「世界に与えた影響」については何も綴られていない。単元全体で学んだ幾つかの社会事象相互のつながりの理解、即ち知識の体系化がなされていないが故に、このような文章表現になっているといえよう。

このような状態を放置したまま仮に生徒たちが主体的に学習へ取り組んだとしても、そもそも何と何に関連し合っているのかが正しく認識されていないのであるから、その主体性は結び付けられ体系化された知識の裏付けや支えといった根拠のない見せかけの主体性である。主体的な学習を推奨するのであれば、鼓舞や強制するだけの手立てを講じるのではなく、授業を通じてものごととものごとをどのように結びつけて考えていけば良いのか、そこに人や

思い、場所や時代背景といったものがどう関わっているのかを理解し考える際に表出される「問い」を醸成させることが不可欠である。この問いに対する見解を自分自身の力で導き出すことを繰り返す中で、教科書に限らずあらゆる書物やネット上に氾濫している数々の情報も自分なりに解釈することができるようになってくるのである。

「ねらい」を設定する意味と何のために「振り返り」を書かせるのかという意義が教師・生徒の双方ともに理解・共有されることなく、ただ形式的に設定し、書かせるべきという思考停止の状態がこのような事態を招いていたのである。何よりも一番の被害者は生徒たちに他ならない。

以上のような実態を目の当たりにし、全生徒の提出されたノートに一人ずつ赤ペンで何が不十分なのか、どこをどう書けば良いのかアドバイスを記入していった。中には優れた文章を書く生徒もいたので、本人の承諾を得て、全クラスでその内容を紹介することで次回への励みとした。以下にその一例を提示する。

世界恐慌は多くの国に経済的なダメージを与えただけだと思っていた。しかし、経済的なダメージ以上にそのダメージを回復しようとした政策に問題があるということに焦点を置くべきなのではと思った。

ニューディール政策では、自国優先に走りすぎて他国の植民地への支配の強化や侵略につながってしまった。

ブロック経済は弱い立場の者を搾取する結果となった。ファシズムは個人の自由が奪われ、戦争の火種をつくった。このような問題を起こしてしまった背景には、国民の1人1人が困難の前で自分のことばかり考えすぎたということが挙げられると思う。

人は困っているときに、救われるとつい救った側を善とし、その裏は考えないようにしてしまうのではないだろうか。

その結果、国際連盟の役割であったはずの世界平和と国際協調というものがなくなっていったのだと考える。

お金がない状態が人のおろかな部分を増大させ、ついには戦争のおそろしさまでもを忘れ、第二次世界大戦を引き起こしてしまったのだろう。

これは、3年2組TT男が同じく最初の振り返りで書いた文章である。世界全体を巻き込んだ未曾有の経済的なダメージが、後の世界情勢の流れを位置づけていったとする内容であるが、主な歴史的事象とも関連付けながら自身の見解も踏まえた文章表現となっている。この生徒も2年前に筆者が受け持った生徒の一人であり、ものごとを相互に関連させながら思考することができていることが了解されよう。

### (3) 共同学習へ向けて

一人学習の指導によって、調べ学習の内容が具体的かつ継続的に積み重ねられていくようになったという成果が確認できた段階で、次に調べてきた内容を級友に伝える機会を設けた。本来ならクラスの生徒全員にその機会を確保したいところであるが、授業時数の制約もあり、調べ学習がすすんでいる数名を選抜して模範とした。

次にこれまで各自が行ってきた一人学習の内容を提示し、授業で扱ってきた教科書中心の学習内容と関連させ、学級全体で追究したいと思う課題について意見を求めた。すると、昨年度と同様に人権上の諸問題と自分達の生活上の不満をリンクさせていく流れとなり、「私たちが目指す社会を実現するには」という単元名のもと、共同学習を行うこととなった。

## 4. 授業の実践

### (1) 単元づくりと授業実施の環境整備

昨年度の実践<sup>(2)</sup>と同様、今回の授業も学習課題としては、新学習指導要領の公民的分野の内容D「私たちと国際社会の諸課題」にある最後の中項目(2)「より良い社会を目指して」から設定すべきと考えていた。しかし、実施時期が3ヶ月近く前倒しとなるため、経済単元及び国際社会単元は未履修領域となる。したがって「持続可能な社会の形成」という観点はあえて不問とし、加えて人権週間を終えた直後というタイミングからも、人権(憲法)学習の内容を単元の中心と位置づけて授業計画を作成した。

共同授業を実施するにあたっては、その都度校内に広く周知し、初任者研修の機会も兼ねる形で実施している。こうすることで、生徒主体の授業の在り方や学習指導の方法を紹介するだけでなく、教科として独自の取り組みについても一定の理解を得るためである。しかし、実際に授業を参観しにくる教師は少なく、生徒たちが主体となって話し合いをする

姿に対する驚きと賞賛の声はあげられても、その実践を真似してみようとか取り入れたいという声は終ぞ聞こえてはこない。<sup>(3)</sup>

### (2) 共同学習のようす(授業記録)

授業実施日：令和3年12月17日(金)第5校時

1学級委員：起立。気をつけ、礼。

2T：お願いします。

3C：お願いします。

4T：はい。では今まで皆さんは2学期に入ってますね、公民的な学習の所で、憲法の学習と、えー政治についての学習とひと通り終えました。ね、で今、経済の所にも入ったわけですけども、えーそこまでやった時点ですってね、えー色々えー今まで学習してきた疑問に思ったこと。ね、私たちの、この国、日本、或いは世の中って一体どういう状態なのか。ね、そこにすごく疑問をもったと思いますので、えーみんなでも意見を出し合って、こんな(板書を指差し)共通の課題っていうのを作りましたよね。今日は、これを元に、えーそれぞれの皆さんが調べてきてくれたことがあると思いますので、それを元に話し合いをしたいと思います。では、早速ですけど、ねらいなんですけど、えー各自で設定してると思いますから、設定したものをじゃ、まずノートに書いてくださいね。1分位で書き終えるでしょう。はい、各自それぞれ決めたねらいを書いてください。(1分程度待つ)大体大丈夫でしょうか。じゃねらい、発表してくれる人いますか。うん、どんなねらい設定したのか。あついないなー、はいSA女さんどうぞ。

5SA女：はい。えっと、現代の社会の課題とその解決策について、みんながどう考えているのか。そして私たちはどうすべきなのかを理解して考えるっていうねらいにしました。

6T：うん。みんながどう考えているのかを理解して考えるですね。はい、もう一人どうぞ。じゃYmH女さんどうぞ。

7YmH女：はい。んっと、多くの人の話をよく聞いて、その上で自分が考えたことなどをしっかりと発言する。

8T：なるほど、多くの人の考えを聞いた上で自分の考えたことを発言するまで、ですね。はい、じゃ他の人も自分に合わせたテーマ、あのねらい考えたと思いますのでね、それに向かって今日、学習を進めていきましょう。では早速なんですけども、えーこのテーマをね、考えるにあたって皆さんの中で調



べた事とかあると思いますので、えーみんなに伝えたいとかありましたら、遠慮なく発言してください。はい、SR男さんお願いします。

**9SR男:** 皆さんいいですか。(C:いいです。) えっと、今日緊張しているので頑張ります。(C:ははは) えっと、えーとこの社会、えーと目指す社会を実現するにはという課題で、僕は上下関係が、んと一番深く関わっているんじゃないかと。(T:あぁー) それで、皆さんご存じのとおり、アンケートを、僕とったんですけど、えっと一意外にえーとグラフとかで示したんですけど、「いいえ」、「いいえ」が多くて、まあでも(T:「いいえ」っていうのは何ていう質問に対しての「いいえ」ですか。) えっと、(T:うん。) 兄弟姉妹関係で困ったことはありますか(T:うん。) ていう質問で、(T:うん。) んっと、ちょう、ちょうどっていかまあ半々に分かれたんですね。(T:ほおー) 「はい」、「はい」が49、約49%で、「いいえ」が51%っていう結果になりました。(T:うん。) で、アンケートの結果、多かったのは「いいえ」なんですけど、「いいえ」の中でもやっぱり先生、先生やあの先輩方との上下関係で困っ、困っているという、書いたのがありました。で、アンケートQ2のんっと、今まで上下関係で困ったことはありますかっていうのは、あってというアンケートをしたんですけど、多かったのはやっぱり家族関係、多くて、やっぱり兄弟姉妹の立場のトラブルとか優先順位で、(T:はは。) そう、そうなん(T:あるんだ、そういうのが) はい、(T:家族の中で、へえー) あの、アンケートとったら(T:うん。) で、やっぱりその、今度は変わって父と母の間、あのその間の関係では、やっぱりその兄や姉の立場の人とかまあそういうことも、ま、逆もあるんですけど、それが理不尽につながっているっていう回答も、している人もいました。で、「はい」の人は、えーとやっぱり「はい」の人でも、立場という関係で悩んだり困っていることもありました。で、なぜこうなってしまうのかっていうのを僕が調べたんですけど、えーとそれは、あの一儒教と朱子学が関係している、していたと分かりました。っと、まあその2つが関連していると、儒学はあの一中国のあの孔子大先生ですね。(C:あはは。) かの有名な、あの一あの学問というか、で、朱子学はえっと江戸時代につくられた、その一儒教が儒教を、儒教が派生した学問で、なっているんですが、んと一で、日本はえーと儒教のえーとそ

の考えを多く取り入れてるんですが、その儒教を勘違いしてしまっている人がいて、ほんと、本当の儒教の意味はえっと、上の者は下の者に対して感謝をし、いかに敬意を示してはらうかっていうのをえっと追究する学問なんですけど、えっと、その儒教を、儒教を取り入れて、でまあ朱子学も学ぶわけじゃないですか。でも朱子学のその朱子学の何て言うのか、浸透? 浸透しすぎて、んと一何て言うんだら上に立っていても、えーと上に立って、え、どんなことをしても尊敬されるという考えをもつ人が、えーまあ多分年々増えてるわけですね。それで、あの一何ですか、その上下関係がより、深く深くなってしまったんじゃないかなと、個人的には思います。つまり、日本が、まあ日本は養っている考えは儒学、儒教なんですけど、えっと儒教ではなく、まあ朱子学だということが、なんじゃないかなと調べた学習でまあなりました。あっいいですか。(T:どうですか。) あっどうですか。分からないこともあるので、あの質問、質問してください。(T:はい、どうですかみなさん。) あっ OA男さん。

**10OA男:** いいですか。(C:いいです。) あの一さっき儒教と何だっけ、その(SR男: あっ朱子学。) 朱子、朱子学、があ、えっ朱子学が、あの上下関係に関係するって言ってたんですけど、あっ言っていたと思うんですけど、あっ(T:(SR男さんに向かって)はい。いいよ座ってください。) あの一あの、もっあのやっぱり儒教っあの今、SR男君が話した儒教と朱子学ではやっぱり何か大きな間違いがあるって言っ、言っただじゃないですか。(T:はい。) あのそれをもうちょっと何か詳しく説明してほしいなって(T:ははは。大きな間違いについての説明だそうです。大丈夫。) おねが、おねがいます。(T:はい、どうぞ。)

**11SR男:** えっと、まあもう一度になってしまうんですけどえと儒教は、下のあれえっと上の者が下の者に対して感謝をし、如何に敬意をはらうっていう考えで、あつあと下、下の者に如何に感謝(軽部: 上から?) をして、下の者に、上の者が下の者にえっと如何に感、あつ感謝をし、如何に敬意をはらうかっていう考えで、朱子学はえっとその一、江戸時代につくられて、でその一朱子学の考えは、下の者があの、上の者を敬うっていう考えを重視されるようになったんですね。それで、はい。それで、ま、儒教を日本は取り、取り入れてるんですが、えっとそ

の朱子学の考えにどんどんどんどん浸透してしまっ  
て、その一儒教なんだけど、いや日本は朱子学で  
しょって今なってるんです。ってことを、ってこと  
ですね。(C:ははは。)(OA男:わかりました。  
ありがとうございます。)

12T:大丈夫ですか、OA男さん。(OA男:はい。  
はい。さ、皆さん。これを聞いてどう思いますか。

13OA男:えっ、これ僕が指しちゃっていいんすか。  
(T:はい。)じゃあMY女さん、お願いします。

14MY女:わかりました。(教師の方に向かって)  
いいですか。(T:どうぞどうぞ。)私は、あーっとめっ  
ちゃ緊張しちゃって。(C:ははは。)(SA女:大丈夫、  
大丈夫だよ。)私はいじめについて調べ、いや実体  
験の事を話そうと思います。私は幼稚園年中から小  
学校4年生までいじめを受けていました。ま、これ  
はガチです。あの、知っている人は知っていると思  
いますけど。最初は、悪口、陰口、無視されるだけ  
で、だったんですけど、どんどん学年が上がってっ  
てたりとか、クラスが変わると、どんどんそのいじ  
めのレベルがヒートアップしちゃって、まっ最終的  
には上履きを隠されたりとか、んと石を入られたり  
とか、靴に虫を入られたりとか、あと上履きに  
画鋲が入っていたこともありまして。ま、そういう  
感じでいつもの何かしたらからかわれたりとか馬鹿  
にされることが多かったです。私は。で、ある日、  
あのいつものようにいつものようにってか、からか  
われたとか馬鹿にされたときに、そのいじめの加害  
者の人が私に「死ぬ」って言ってきたんですよ。で、  
そんな時に、もう何か精神的に追い込まれていた私は、  
何かがブツンと切れちゃって、家に帰ってきたとき  
にあの一包丁出して自殺未遂をしたんですよ。  
あっちょっと待って、緊張しちゃった。で、そして  
自分の心臓に向けて、この刺そうと思った瞬間に考  
えちゃったんですよ。あれ、何で私こいつのために、  
に命を投げ出さなきゃいけないだろうって考え  
ちゃって、そしたら母親が帰ってきたんで、あっじゃ  
止めようって思ったんですけど。ま、それ1回だけ  
でした。それは。だけど、それからもう先生に言っ  
て、言えとか友達に言うとか言う気が全然なかった  
んで。その、そのままずっと続いてたんですけど、  
で小4の時にさすがにこれキツくてもうヤダと思っ  
たんで、自分で言ってもダメなんだったら、やっぱ  
誰、自分で誰かに気づいてもらおうと思って、私は  
いじめの加害者にわざとちょっかいとか、先生の目

の前とか友達の前でちょっかい出したりとかし  
て向こうは怒ってくるわけですよ。それ嫌だから。  
そんな時、私の、先生の目の前でとうとう私をいじめ  
たんで、それ、それで見つかって、ま、いじめは終  
わったんですけど。なんか、よく大人の何とか多分  
これは聞いたことあると思うんですけど、困ったこと  
があったらすぐに何か言いなっていう、言うと思  
うんですけど、私はこの言葉はすごい嫌いです。えっ  
と理由としては、2回なん、1回ってか何回もその  
私いじめられてるんですけどって言っても、やっぱ口だ  
けじゃ伝わなくて、やっぱ実際に見たりとかして  
ないと伝わらないし、ましてや叱ってくれたりはし  
たけど、さらに何か恨まれてもっと酷くなったりと  
かした経験があるんで、やっぱこの言葉は私自身を  
救ってはくれなかったです。だから私はこの事を、  
の思ったところは、やっぱ子どもの意見とかを簡  
単に受け流さないで素直に聞いてほしくて。しかも  
何か実際にこれも実体験なんですけど、あの1回  
友達に相談したことがあるんですよ。すごい仲の良  
い友達に私いじめられてるんだけど、どうしたら  
いい?って相談した時に、「それってあんたが弱いか  
らいじめられてるんじゃない」って言われて結構  
ショックだったんですよ、これって。何かまるで  
私が弱いからいじめられてるっていう、思われちゃ  
いうセリフを言われた時にすごいショックで、それ  
以来誰にも相談できなくなっちゃったりとか友達を  
信用することもできなくなっちゃったりして、さら  
に酷くなっちゃったりとかしたんで、うーんやっぱ  
何か簡単に受け流さないで、誰かにき、ちゃんと聞  
いてほしいなって思っていました。で私、このいじめ  
られた経験から2つ思ったことがあって、ま、2つ  
とも似てるんですけど、やっぱ周りの人達のえっと、  
あっ周りの人達の対応とか、あとは大人の人の対応  
とかがやっぱ曖昧過ぎるから、曖昧過ぎるって  
いうかちゃんと助けてくれないからやっぱいじめ  
てやっぱ起きて、起きてしまうしそのままぐっ  
ちゃうんじゃないかなって思って、思ったんですよ。  
で、やっぱ先生にも何か相談したけどやっぱ見  
てないから信用されていないし、ましてやそのいじ  
めっ友達ってあの一先、先生の目の前ではいい子  
ぶってたから余計に信用されなくて、でだから、  
もう私この先生実際本当は嫌いなんですけど。や  
っぱりそういうのを受け流しちゃうからよくない  
んじゃないかなーと思います。で、何でいじめる加害



者は人をいじめちゃうのかなーと私は思ったんですけど、えっと1つは価値観の違いとかもあんじゃないかなーと思いました。えっと人それぞれ個性が違うとか長所、短所があるのは勿論そうなんですけど、何で私はその、あの私をいじめた加害者を、加害者にいじめたのってき、聞けなかったんですよね。まあ聞きたくもなかったし、話したくもないし。聞いたんですけど、で何か先生が聞いてくれて、そんな時に返っ、ま1つ返ってきたのは価値観が違うし、やっぱり私、結構物事をやるのが苦手だったりとかしてっただんで、できる事が人よりは少なかったから、やっぱりそれをネタにしていじめたほうが楽しかったからっ、てた人もいる、いるんですよね。で2つ目は、プライドなんだ、だと思っんです。何で自分ではできないのにこいつはできるんだろうとか、変な謎すぎるプライドをもっているからだと思っんです。で、やっぱり自分よりもその弱い人を、とか自分よりできる人をいじめてやっぱり自分は強いっていう錯覚をしたんじゃないかなと思っっているし、でストレス解消になるんじゃないかなと思っました。で、やっぱり加害者も加害者で何か悩みがある人がいて、その悩みの矛先、悩んだら、で何かもう自暴自棄になって人をいじめるとかあると思っんですけど、実際にそう言ってきた人もいたんですけど、私はそれはまったく関係ないと思っます。やっぱりいくら、いじめ何か自分が悩んでいるからって、人をいじめていい理由になんてならない、ならないはずだし、ましてや許されるべきではないはずなんで、そう私はそれは違うなって思っました。んとやっぱり、いじめをなくすことは絶対できないと思っんです。だけど減らすためには、やっぱり自分自身が言える勇氣と周りの人の関与がすぐにと、その一今よりも改善されなければ何も何も変わっていかないと思っんです。だからまずは、人の、人の事をよく考えて行動して、自分あの一相手が嫌だなと思っ発言は絶対にし、してはいけないと私は思っます。思ってやっぱりそれをみんなが実行していれば、いじめが減っていくのが、ゆくゆくはなく、なくせるかもしれないし、より理想の社会になると思っます。どうですか。すみません、緊張してめっちゃ噛んじったりとか(C:ははは。)間違っってしまったんですけど。(C:大丈夫よ。大丈夫、大丈夫。)(SA女:いい?) SA女さん。

15SA女:はい。えっと、ちょっと私もややヘビー

な話になってしまうんですが、私ま、いじめってあったじゃないですか。けっ、あの一あれって同年代の人をいじめたり、同じ歳が近い人をいじめたりすると思っんですけど、それって歳が離れてたらなくなら、ないのっていうわけじゃなくて、それが虐待っていう形になって存在するんです。多分。まあ、実際私もその経験者で、あの一まっちょっとな話やこしくなっちゃうんでまあ色々省くんですけど、私の義母が、義母が私に虐待をしてきてま、具体的に何されたかという、毎日あの、お風呂入った後に髪拭いてくれるんですけど、タオルの上から爪立ててガリッてやって血が、血を出したり、あとご飯の時に食べられないのに、本当に食欲なくて食べられない時ってあるじゃないですか。まあそれ私毎日だったんですけど、それなのに「時間稼いでんじゃねえよ」って暴言言われたり。で、言われないように焦って詰め込むじゃないですか。で、飲み込むタイミング失っちゃって、でまた言われるの繰り返しなんですよ。だったんです。で、そして家での食欲が消えました。あと、弟妹との差別が酷いんですよ。私がやらかして、やらかすと頬を引っぱ叩いたりつねったり蹴とばしたり、まあ暴行を加えられるわけです。でも、弟妹がやらかしたら「あれ何でそんなことしたのー。もう姉が悪いのね、そうなのね。」つつうなわけで私に結局責任が来るんです。でも、何だこの落差ってめっちゃ思ったんですけど。まあそんなわけで精神滅入っちゃって、一度死のうと思ったことあるんすよ。私、MY女ちゃんと同じく。小学校の4階?、結構高い所から窓から落ちて死のうと思ったんですけど、身長が足りなくてちょっと(笑)断念しました。まあえーそうだな後は、まあ今、こうやって私生きてるじゃないですか。生きて、生きていかなかったらここには居ないと思っんですけど。けど、この傷とかって結構残ってたりして、私思ったのが虐待はそんな時だけの問題じゃないんだって。だって、受けた人って今までもこれからも、その傷と向き合っていかないといけないし、それを分かってくれる人って、表向きで表面上話してて分かる人っていないじゃないですか。いたらエスパーだと思っんです。で、それでめっちゃ辛いわけなんですけど、ま、辛いんですけど、それで何か解放される術があったとしたら絶対それをすると思っんです。で、その手段の1つが虐待だったと私は考えているんですけど。そして、虐待する。で、された

子が大きくなる。そして虐待をしてしまうっていう繰り返しが生じてしまうんだと思うんです。で、それをなくすためにはどうしたらいいのかって思っています。私は、こうやって今、虐待の話をしたじゃないですか。体験談として。それで「虐待されている可哀そう」っていうので、すごい表面上の考えを持っている人がいると思うんです。あの、別にそういうの良くないって思っているわけじゃなくて、別にそれでもいいんですよ。けど、それで済ますって、済ませずに虐待された分、分だけ何か、その何て言ったらいいんだろう。愛情？愛情まあ他者から、親から本来はもらうはずの優しさだとか信頼だとか、そういうのをもらってない、ないから他人、心に傷が生じてしまうわけなんで、そういう愛情とかを与えようってスタンスになって、何かそういう、そうしてくれれば傷とかの、完全には癒えないですけど多少癒えると思うし、もし、もし虐待する羽目になってしまうような、そういう辛さが限界に来てしまった時にその人を頼れると思うので。何かそう親し、親しみをもって接してくれればなあって。すごい、あの、あと、すごい、すごいあのこっち行くと部外者の話になっちゃうんですけど、「はっ？」て思ったことがあって。あの、今「はっ？」て思っているだけで、過去の私はそんなこと全然思ってたんですけど。学校とかでも結構張り詰めて、表情暗くてしかも学校、教室の隅っこで「死にたい」とか呟いているような人だったんですけど、それなのに、あの一学校の先生とかは「何かあったの」「えっ、どうしたの」みたいなそんな感じで声をかけてくれるわけもなく、ただただ何か過ぎして、なん、その対処はしてくれなかったんですね。で、「お前それでも大人か」って、今言いたい人が結構いて。ま、確かに子どものSOSって結構分かりづらかったりするんすよ。子どもですから。けど、私みたいなケースって結構堂々としてますね。堂々としてますよね。なのに、なのに対処してくれなかったんですよ。酷くないですか。もう、189番って虐待とかそういうの相談する、相談する電話番号みたいののあるのに何の対処もしてくれなかったんですよ。そういうのがあるんだから、何らかの対処はしていただきたいなってすごい思います。そしたら多分、虐待とかもなくなるし、あとさっき言った他者との、他者からの信頼？親しみ？があれば、あのそう追い詰められても頼ることができるから、ま、そういうのを付き

合っていないと、このねらいのめっ、理想の社会は実現できないと思います。皆さんどうでしょう。

16T：はい。重い話がね、続いたんですけど。どうですか皆さん。

17SA女：あっ MnR 女さん。

18MnR 女：はい。いいですか。(C: いいです。)んと、MY 女さんも SA 女さんも、っと、周りの大人たちがあまり対処してくれなかったって言うたと思うんですけど、んと、んと世の中的には何か大人の方が正しいみたいな感じがして、んと私たち子どもが先生とか大人の人に意見をぶつけても、あのみんな大人が正しいって、子どもたちは間違ってると思ってるからあんまり自分たちの意見を聞いてくれようとしてくれなくて。だからそういうのって、ま、上下関係があるから、っと成り立っちゃうことだと思うんですよ。だから、上下関係がもうガッチガチだと、もう子どもたちの権利っていうのも薄くなってきちゃう気がするので、やっぱり上下関係っていうのはすごい、深く関わりがあるんじゃないかなって思いました。どうですか。MeY 男さん。

19MeY 男：はい。んといいいですか。(C: いいです。)えっと、その上下関係について言ってくれたと思うんですけど、あの、その、僕もえっといじめは、その虐待っていうのは、ちっとあの大人と、と子ども。あとは、あのその同学年で、上下関係でもないっていうと思いました。で、僕はえと刑を終え出所した人への差別について調べたんですけど、それにもあの僕は上下関係があると思って。っとその差別は昔から根強く残ってるんですけど、んとその根強く残っている理由っていうのが、んとその人々は、その、人たち、その刑を終え出所した人たちへ、に対してその悪い人と思っている人が多いから、そのこの差別はなくなんないと思って、でやっぱりそこに上下関係があると思いました。どうですか。OY 男さん。

20OY 男：はい。いいですか。(C: いいです。)はっきりに言って、その全、そのほとんどって、まあ最悪の場合、全部、全部命に関わるじゃないですか。刑が終えた人が、例えば刑が終えた人がまあそういう犯罪を犯したからって理由で、何か住む場所がなかったりして、この復活して亡くなっちゃうっていうことになるじゃないですか。だから、まあ今の日本って結構命を軽視している事が多いんですね。で、あんまり詳しくは調べられなかったんですけど、例え

ば今コロナで色んな小中学生の自殺、自殺者がどんどん増えてって、でそれって全部多分いじめとか、ま上下関係も少しはあると思うんですよ。で、例えばこの中で誰かが死んじゃったってなっても例えばみんな悲しむじゃないですか。それも刑を終えた人でも一緒に、刑を終えた人が死んだとしても誰かしら悲しむじゃないですか。だから命は皆平等で、え一例え一、あの一まあいじめている人だったりいじめられている人でも死んじゃ、命がなくなったら誰かしら悲しむと思うんです。で、だから命に関わることは絶対やらないとか、見過ごしちゃだめとかそういう考えが少しちと足りないのかなっていう、今の子どもとか大人とか思います。皆さんどうですか。UH男さん。

**21UH男:**いいですか。(C:いいです。)え一と僕は、以前刑を終えて出所した人を調べて、その現状を見て、で最近調べたLGBTQについて調べたんですけど、比べるとその刑を終えて出所した人は、その社会とかの、ん？仕事場に行くときの面接とかあるじゃないですか。それで、LGBTQにはそのえ一と面接を行って打ち切られたとかがあって、それってやっぱ偏見とかさけ、えっ？差別を持っている人が世の中には居過ぎて、それでその対応策とかされてもくもらないと思いました。どうですか。KaM女さん。

**22KaM女:**はい、あっいいですか。(C:いいです。)んと私は、え一と天皇が、皇族制があることについて調べたんですけど、えと今、色んな人が言ってくれたみたいに上下関係とかあると思うんですけど、その最も大きいところは天皇とかがいることなんじゃないかなって思ってた。今の日本は、昔身分制が撤廃されたからみんな平等ってなっているはずなのに、天皇とか皇族って私たちよりも上の身分じゃないですか。それがあって憲法とちよっと違うんじゃないかなって思ってた、あと調べてみて、あっ調べたきっかけが、あの一この間ニュースで眞子さんと小室圭さんの結婚が、え一と儀式が一切行われなかったり、なんかそもそも結婚自体に批判があったりとかして。でも憲法だと、んと一結婚は両性の合意があればできるもので、あの一他の国民とか国の役人さんが口出しできる事じゃないかなって思ってた。えっと、人権が皇族の人たちの、ちゃんと保障されてないかなって思ってたので調べてみたんですけど。えっと皇族の中で私の人権をちゃ

んとできた、保障できてないなって思うのが、んと職業選択とか自由権とかの自由がなかったり、あと皇族の男の人は、もう生まれたときから、えと一例え一同年の悠仁様みたいにもう天皇に決まってるとか言ってる、自由に生活できなかったりとかして。あと一女性はあの一、女系の皇族の人と女性には皇位継承権がないんですよ。天皇にはなれないんですよ。で、私たちよりも人権が制限されているのは何でなのかなって思ったときに、人権は憲法で国民に全て保障されてるってなってるんですけど、この憲法の中で天皇は、日本国と国民統合の象徴ってなって、象徴だから国民として認識されてないんじゃないかなって思いました。で、えっと今言いたみたいに女性が天皇になれなかったりとか、天皇家、皇族の中で女性差別的なことをしているから、今日本で女性が下に見られてたりとか雇用の中で男性よりも雇用機会が少なかったりとかして、日本の男女平等ってというのがえ一と実現できないのは、その皇族制とか皇族の中での女性を下に見る風潮があるからなのかなって思いました。だから、まずその男女平等っていう社会を私は理想の社会だと思ってたので、そこを目指すためには、私は個人で天皇家とかをあまりつくらないとか少しづつなくしていった方がいいのかなって思いました。あと、そのさっき言った眞子さん達への批判っていうのは、多分自分の、天皇家とかじゃなくて自分の身近な人だったら多分誰でも応援すると思うんですけど、それが天皇家だから自分達よりもいい生活をしてるからっていう羨ましさとか妬ましきがあるからだと思ったので、その自分達も天皇家の人達を、あの上に見るとか、そこで自分達で上下関係を考えるんじゃないかって、天皇家とか皇族の人達も自分達と同じ人間なんだっていう、平等なんだっていう考えをもった方がいいと思いました。皆さんどうですか。OA男さん。

**23OA男:**はい。いいですか。(C:いいです。)あの一あ、僕は女性差別について調べたんですよ。あの一、さっきあの一KaM女さんが言ってたとおり結構女性って下に見られがちなんですよ。日本でも、実は海外でもそうなんですよ。で、あの一MnR女アジアの方では、あの一女性があの一、子どものうち、だから未成年のうちからあの一結婚されて、しかも一夫多妻制っていう所もあって、あの一何だろうあの一すみません、ちと緊張しちゃって。(T:どうぞ、ゆっくりやってください。)はい、あの一あの一

夫多妻制であの結構女性が、あの、物として扱われてんじゃないかって思う、あの僕は思ったんですよ。あー今、日本では、ま、結構女性差別は今、どんどんどんどん少なくなってきたはいるんですけども。あの国会だとか国会でも、あの女性のあの議員の人達は、何か少ないんじゃないですか。ま、だから今、女性って結構あのSDGsっていうのも、あの項目の中に女性の差別をやめようっていうのがあ、あるん、あるん。あのーまっこんな事言えば女性差別をあの、男の人ですよ、女性差別をしている人はいないと思うんですけど、ま、あどうすればなくなるのかなーとか、あの、まあ時々考えたり、あのニュースとかでも結構見、女性差別について見てるんで。あのー結構あれ可愛そうだなとか、あ、僕、僕の実は昔、あの、あの女性しか友達いなかったんですよ。昔、小学校の時、(C:ふうん。)あ、元から友達少なかったんです。なんで、あのーよく教室の中で、あのー女の子の友達と結構話したりしてたんです。まあそれで結構、いじめなのかなあ、まあいじられてたりされてたんですよ。ま、SA女さんやMY女さんみたいに酷くはなかったんですけど。さすがに、まあでも結構あの、色んな人から言われてましたね。ま、でも親は別にそういうのは大丈夫、ま、そ、そう、あの親は、あのそういうのは、別にその人が一緒にいたいっていうふうななんか、あの一緒に友達になりたい人は選ばな、あのー自分で選ぶんだから、他の人の、あの意見とかまあ無視してとか、無視しても、も大丈夫だよみたいな。ま、だなので、まあその後もまあ一応あの話してたんですけど、まあ、まあいじってた奴にもちょっといい、いじり返してたりとかしてたんで。えーまあ、で、あの実はあの転校しちゃっ、あのそこから転校しちゃって、あまり友達できるかなーとか、あの、あの、あの小山に来ちゃっ、あの、その何だっけ、その、あの女の、女の子と友達だった学校と、あの転校してきたんですよ、あの城東小に。ま、そっから、まあ男の友達も結構増えてきた、そんな感じだったんですけど。あのまあだから女性差別、まあ女性に対する偏見とかは、もう本当、僕も経験してきたんで分かるん、ふふ経験してきた？違うと思う。何だろう、違うと思うんですけど、まあ女性差別はやめ、やめさせないって思いましたね。どうですか。

24T: はい、じゃもう時間なんですけど。じゃ最後にはい。

25OA男: すごい、MS女さん。

26MS女: んと、今まで経験、家族っていう話が続けてきたので、それに乗っかりたいと思います。じゃあ始めます。実際、私が調べたのはLGBTQについて調べました。特にその医療が酷いって思いました。それはLGBTの専門機関が少なく、場合によってはLGBTは認めてもらえないこともあるそうです。1つのあの事例として、一緒に暮らしているパートナーが、意識不明になっちゃって入院したとき、同性パートナーだったという理由から、病院で医師からあの安否情報の提供、治療内容の説明を受けられなかった、面会もできなかったそうです。ちなみにインフォームドコンセント分かりますか。(C:ざわざわ。)あ、っじゃ失礼しました。えっと超簡単に言うと、インフォームドコンセントは、その医療の方法とか、を、その本人とか家族とかに、まあ提、何か言うっていうのがインフォームドコンセントなんですけど、それ家族にしか通用しないそうです。(C:へー。)なので、まあ同性のパートナーには言ってもらえないそうなんです。これって人権問題だと思いませんか。自分の好きな人が、まあ、こう、どういう状態なのか分からない。その状態を教えてもらえないっていうのはかなり不安だと思います。まあ、みんな恋人いない人もまあいるんじゃない(笑)、あ、っ別に煽りじゃなくて、(C:ははは)分かりやすい状況で言ったら、じゃあ例えば家族が倒れちゃいました。家族今、生きてるのかどうかも分からない。なのに伝えてもらえない。みんな不安だと思いませんか。この状態について、すごい酷いと思ったんですよ。やっぱり、えー自分的には日本の問題？、で、一番最初に片付けていくべきなのは人権だと思います。どうですか。

27T: はい、じゃすみませんね。じゃ時間なので、えーまとめに入ります。じゃ今まで話したことを元に、ね振り返りましょう。はい、じゃちょっとごめんね。急ぐから。時間がないのでね。そんだけ長く書かなくていいですよ。もうちゃちゃっって書いてください、今回は。あの、思ったことでもいいです。ずばりと、ストレートに書いてください。

チャイム

28T: 時間がないのでね。今日はもう、書き終わった人からでいいと思うんですけど。簡単で結構ですから、もし発表してくれる人いたらお願いします。終わっている人は手挙げてください。ちゃんと。



OA男さん2回発言しているから、じゃKuM女さん。  
29KuM女：はい。

30T：じゃすいませんね。よく聞いてください。あとで書いてください。はい。

31KuM女：この話し合いを通して、(T：うん。)世界には、色々な話題に目を向けないといけないなと思いました。(T：うん。)みんなが話した内容で知らない事も多く、知ることは大切だなと思いました。

32T：はい、ありがとうございました。(拍手) はい、もう1人どうでしょう。終わっている人。おっ、じゃあMnR女さん。

33MnR女：はい。上下関係は一見関係がなさそうでしたが、深く根付い、根付いていそうだなと思いました。意外なところから発見があったので、もう少し詳しく追究してみたいなと思いました。

34T：はい。意外なところで繋がったということですね。はい、ありがとうございました。(拍手) じゃすいませんね。あの一書く時間がなくてね。後でちょっと、また時間、社会科の時間にとりますから、思い出しながら書いてみてくださいね。じゃみなさんの休み時間を確保するのも人権ですから (C：ははは)、じゃ以上で終わりにしましょう。

35学級委員：起立、気をつけ、礼。

36T：ありがとうございました。

37C：ありがとうございました。

## 5. 授業分析

### (1) 授業全体の流れ

この授業は大きく4つの分節に区切ることができる。第1分節が「上下関係に問題がある」(~No.13)、第2分節が「私の体験を聞いて」(No.14~17)、第3分節が「調べてきたことから言えること」(No.18~22)、第4分節が「調べてきたことと経験を重ねて」(No.23~)である。

授業の冒頭となる第1分節でSR男が、理想の社会を実現する上で障壁となっているのは必要以上の上下関係にあるという意見を述べ、その起因を江戸時代の朱子学に求めた調べ学習を発表する。儒教と朱子学の違いを質問したOA男によってMY女が指名されると、彼女は調べ学習から発展させた自分自身の体験談として過去に受けたいじめの内容を赤裸々に語り始める(第2分節)。すると、それに呼応するかのようにSA女が指名を求めて挙手し、義

母による虐待の経験から周囲に頼ることのできる環境こそが必要であると発言する。

ここ数年来、人権に関するテーマで集団学習を実践していくと、必ずと言っていいほど生徒自身が主体的に過酷な経験を告白する場面に出会っている。本来ならば、このような黒歴史は誰にも知られたくないという心理が働きそうなものであるにも関わらず、級友に対しあえてさらけ出すという決意が見られる。このような現象が起きるのはなぜなのだろうか。今回の集団学習で自身の経験を語ったMY女とSA女に尋ねたところ、両者とも当時の苦しい胸の内を吐露する相手と場面がなかったとのこと。一番の望みは辛く悲しい現実を変えていくことであるが、例えそれが叶わなくても自分の気持ちを分かってくれている、影ながら見守り支えてくれているという存在すらなく絶望的な状況だったことを話してくれた。

これらの現象から見えてくることは、もはや日々の学級経営が、何事も問題を起こしてはならないという同調圧力しか生み出していないという事実である。毎年学級という集団に所属し、授業のみならず行事等で喜怒哀楽をともにするような生活を送っていたとしても、分かり合える友人はおろか、自分の悩みを聞いてもらえる安心感すら与えていなかったということ。MY女、SA女の両名は、恐らく今回の集団学習にその活路を見出していたのであろう。それだけこの二人にとって今回の学習は、自分の生活に根付いた本物の学習だったのであり、この8ヶ月にわたる学習指導での蓄積があったからこそであると言える。

第1発言のOA男による上下関係の弊害と、第2発言のMY女・第3発言のSA女と続いた重苦しい体験談を見事につなげていった(第3分節)のが、MnR女とMeY男である。MnR女は、いじめや虐待の被害者が子どもであるが故に大人達から相手にしてもらえないことを、MeY男は自身の調べ学習(刑を終えて出所してきた人達の人権)から、社会的立場の弱さが差別や偏見を生み出している状況を語っていく。続けてOY男がもっと命を大切に世の中を望み、UH男がLGBTQについての調べから対策が的外れと感じている意見を述べていった。さらにKaM女は、天皇制度における女性の立場から皇族の人権問題に触れることとなる。

第4分節では、OA男が2度目となる発言で、女



性差別の問題に絞って言及する。さらに自身の過去に触れ、女子ばかりの友達の中で周囲から冷やかしゃ、からかいの対象とされた体験にも結びつけている。続くMS女もLGBTとその家族との関わりについて調べ、自身の感情も交えながら人権問題の解決こそが、理想の社会を築く上で優先すべき問題であると提議するに至る。

## (2) 授業の意義 (学習の成果)

このように第1発言者の問題提起を受け、その内容を単に聞き流すのではなく、より詳しく尋ねることによって具体化を図ろうとしている。さらに本来ならば発言することですら躊躇うであろう自身の体験談が加わったことで、問題に対する近接性や切実性を共有することができている。そこに各自が調べてきた内容を関連付けていく発言が重ねられていくに及び、多面的・多角的な思考の場も設けられているのである。

一般的な調べ学習による発表では、学習者が調べてきた内容を細部にわたって述べていくスタイルが多く見られる。しかし本実践では、第1発言こそ質問も含めて詳しく述べているものの、その後の発言については調べた内容をマニアックに語ることも、いかに第1発言となった上下関係と結びつけていけるかという「つながり」を意識して発言している様子が窺える。これは各々の生徒たちが、調べてきた内容を知ること重点を置くのではなく、相互にどう関わっていくのかということを重視した上で授業に臨んでいたことの証左となるであろう。共同学習を幾度も積み重ねなくとも、社会事象を相互に関連付ける授業が日々行われてさえいれば、自然と共同学習は形づくられていくのである。しかもそれは、決して自分一人の為の学習なのではなく、教室内にいるみんなの為の学習という意識の芽生えにもつながっていくことに他ならない。

## 6. おわりに

中学校では高校入試という現実が控えているため、学力向上というの名の下、課題を頻繁に求めるのみならず、授業の中でさえ受験対策の一環として小テストを実施する例が少なくない。これだけ新学習指導要領改訂の主旨が唱えられているにも関わらず、特に社会科では、重要とされる語句を暗記させるための有効な手段としてワーク類をひたすら解かせる学習法が根強く見られるのが現状である。

しかし、いくら人物名や出来事といった社会的事象を暗記したからといっても、それらは所詮名詞に過ぎず、生活する上で知識として活用できるという保証はない。このようにして得られた学力とは、冒頭でも述べてきたように課題解決型のねらいに対して、教科書に出てくる語句と語句を適当に繋ぎ合わせて文末を「～について分かった。理解した。」「～について興味をもった。～を調べてみたい。」という定型文にしかたの何とも薄っぺらい文章しか書くことができないものである。また、「調べてみたい。」と書いておきながらまったくその行動をとることも見せないものであるから、主体的に学習へ取り組んでいるはずもないことは明白である。

一方、緩やかな動きではあるが、高校入試でも思考力を測るため、論述式の問題を出題していく傾向が強まってきている。即ちそれは教師自身に、学力＝知識量（語句の暗記量）という旧態依然とした固定観念を捨て去ることが求められているのである。日々の授業を通して学ばせるべきことは、扱う社会的事象を学習者自身の思考体系の中に組み込ませていく真の理解であり、そのためにも興味ある事柄に対しては貪欲に、そして粘り強く調べていく構えを持たせることである。生徒個々の嗜好を把握し、共感する姿勢を示しながらも生徒自身で解決していきける最低限度のアドバイスのみを与えることが、一人学習を支える手段となる。

いたずらに反復練習ばかりの訓練を強いて、できなければ自己責任とするような指導は、誰にでも出来るという意味で、教育のプロとしての学習指導ではない。指導は、日々の授業で行われている学習とその活動の延長線上に位置づけられなければならないはずである。また、主体的な学習は、グループごとにスライドにまとめてICT機器を使って発表し質問に答えるという、形式的なものでは決していない。なぜなら、そこで行われている作業は、教科書やネット上のものを、思考停止してそれを写すようなものだからである。教科書やネットに書かれてあることの背景やそれを裏付ける事実迫ることで、その事実に関心をもたせられて生きていくこと、そのような自分と同様に矛盾の中で苦しんでいる人はそこから抜け出そうと努力していることに気づいた時、生徒は一步踏み出すこと即ち実践へと動いていく。その時初めて教室や学校は生き生きとし始めるのである。それは学習と生活が地続きとなり、学習

に背骨が通り同時に生活に芯が通って、学習も生活もともに充実し、自分達を成長させるものになることである。主体的という言葉が冠された形式的なものを見直し、一人一人の生徒の学習の充実に努める必要がある。

#### 注

- (1) 大嶋正克『日本社会科教育学会第71回全国研究大会発表時における配布資料2』（『日本社会科教育学会全国大会発表論文集第17号』,2021年）。
- (2) 大嶋正克「中学校ではなかなか広がらない問題解決学習」（『考える子ども』No.341,2012年）。

※本研究は「基盤研究C：資質・能力を連続的発展と道徳的实践生を担保する生活科・社会科の学習指導モデル開発」（20K02727）の助成を受けた。

令和4年4月1日 受理





Learning Guidance in Junior High School  
Social Studies (4)  
Practice that I get over various limitation  
in the corona whirlpool

Yoshihiro TAMEIKE and Masakatsu OOSHIMA